

教育方針	<p>【学校教育目標】 「夢に向かってのびる杉っ子」</p> <p>【目指す子どもの姿】 ○進んで学ぶ子 ～学びの楽しさ～ 【確かな学力】 ○心を磨く子 ～あたたかい人間関係～ 【豊かな心】 ○強い心と体をつくる子 ～やり抜く力と心身の健康～ 【健やかな体】 ○郷土を愛する子 【自己有用感の育成】</p>
-------------	---

重点	①特別支援教育・児童支援体制の充実 ②生活や学習のルール・マナーの徹底と落ち着いた学校生活の確立 ③学習意欲の向上や基礎学力の確実な定着、表現力の育成 ④健康や体力づくりと生活リズムの確立 ⑤「ふるさと智頭」を愛する地域学習の充実・発展 ⑥新学習指導要領全面实施に向けた準備 ⑦読書活動の充実・発展 ⑧職員研修の充実
目標	

(4：十分に達成できた 3：ほぼ達成できた 2：あまり達成できず 1：ほとんど達成できず)

評価項目	具体項目	現状	めざす姿	具体的方策	2学期への改善方策	評価基準	自己評価	目標の達成状況	次年度への改善方策
確かな学力	○自力解決や説明する力の向上（算数の授業）	○算数の学習において自力で問題を解く力に個人差があり、また、問題を解いても説明する力が弱い。	○説明を聞いて理解できるようになっている。 ○分かったことを自分の言葉で表現している。	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の学習で、必ず教え合いの場面を設定する。(ペア・グループ等の形は問わない) 算数の用語を使って、まとめや振り返りを書くことを繰り返す。書くべき内容を具体的に示すことで、定着を図る。 全校で1日の宿題を実際にする時間を設け、集中した家庭学習の仕方を指導する。(定期指導)保護者への音読の協力を依頼し、音読の徹底を図る。 図書館を活用した授業を継続する。 学級ごとに児童への働きかけを行う。 「読書通帳」を活用して、定期的におもしろかった本を紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明を式や図と言葉でノートに書き説明する。また、聞いたことを繰り返すなど、言葉で表現する活動を意図的に取り組む。 振り返りは継続 個人差があるので、家庭学習のめあてを一人一人に持たせ、その達成に向けて取り組ませる。(音読カードなどにめあてを書く) 読書通帳の活用と、図書館を活用した授業に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの対話に関する項目の平均達成率が70%以上。 教師による児童のノートの見取り。 児童アンケートの家庭学習に関する項目の平均達80%以上。 児童アンケートの読書、図書館活用に関する項目の平均達成率が70%以上。 	3 2 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 思考時間の確保を意識した授業の実践をしようとしたが、臨時休業で積み重ねができなかった。 音読カードに学習時間を記入するようにしたが、個人差はなかなか埋められなかった。 委員会の取組があったり図書館活用の学習を意識したりしたが、臨時休業に入り、十分には伸ばせなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝え合いも大事にしながら、しっかり思考する時間を確保しみんなが達成感のある授業を目指す。 週間を設けるなど、自分で計画を立て、主体的に取り組めるような工夫を行う。 読んだページを蓄積したり、昨年度までの貸し出し冊数を明示したりして個々が目標達成に向けて意欲が高まるような取組を行う。 モジュールの時間を計算・漢字など基礎的な分野の習得に活用する。
	○家庭学習の徹底(習得・習熟・自主学习)	○家庭学習時間は向上したが、質(集中・内容)の向上が必要。	○集中して家庭学習に取り組む、音読や自主学习に取り組んでいる。						
	○読書意欲の向上	○図書館活用に学級間格差があり、家庭読書も十分ではない。	○本に親しみ、進んで読書するとともに、本を活用している。						
豊かな心	○規範意識の向上	○集団生活のきまりを守ろうとする意識が低い。	○廊下の右側を歩いている。 ○黙って集合している。	<ul style="list-style-type: none"> 廊下は右側を歩くように、全職員で声をかける。 教室で声かけをして、黙って出発し、集合場所では職員も話さない。 時間になったら始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 80%達成を目指して、環境面では、ラインに加えて体育委員会に協力してもらい、折り鶴を折ってセンターラインに置き、ゆっくり歩くように意識させる。 職員が、昼休けい初めに1階廊下に立ち、ゆっくり歩いている子をほめる。いつも歩いている子を記録し、体育委員会の児童に放送で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートでの、「廊下は右側を歩く」の項目が80%以上。 集会時の自己評価で70%達成 全員そろって始められることが増えている。 	2 4 4	<ul style="list-style-type: none"> 右側通行や歩くという意識づけはできたきたが、行動が伴わない児童が一部ある。代表委員会では、児童の評価は上がっている。 集会の集合や集まり方は良い。 開始時刻もいつも2分前には集合できていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も引き続き、折り鶴を置いて意識付けを図り、行動化を目指す。 集会は良くなったので、来年度は目標にはあげなくてもよいのではないかと。 トイレのスリッパがそろわないので、次の人が使うことを考えて揃えられるように、取り組んでいってはどうか。(委員会と調べる。各階のトイレに学年担当を作るなど)
	○相手意識を高める	○自己中心的な行動が見られる。	○時間を守って行動している。(開始時刻を守る。)						
健やかな体	○基本的な生活習慣や衛生習慣の定着の呼びかけ	○生活習慣、衛生習慣の定着が不十分な子供がいる。	○生活習慣、衛生習慣が定着している。	<ul style="list-style-type: none"> 保小中で連携してノーメディアデー1週間にチャレンジする。 「立腰」について、担任が朝の健康観察時と学習中に適宜声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続。PTAと取組について分析し、情報の提供や啓発をしていく。 姿勢指導の継続をしていく。 全校で取り組めるように周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ノーメディアデーの達成日が増えている。 児童アンケート「話を聞く時は立腰で聞いた。」の達成率が70%以上。 児童アンケート「ワンミニッツエクササイズを一生懸命頑張った。」の項目の達成率が80%以上。 	3 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 8割以上の児童が取り組むことができた。 一時的には意識できていたが、習慣化することは徹底できなかった。 実施した回数が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA、保小中連携の取り組みとして継続。道徳や学級活動と関連づけて取り組んでいく。 学習の始めと終わりの挨拶を立たずに実施する。(立腰をしたまま挨拶することで習慣化を図る。) 「すぎっこストレッチ」を実施する。モジュールの時間や体育の準備運動の時間をつかって定期的実施して、習慣化を図る。
	○良い姿勢の定着化	○姿勢の保持が難しい。	○良い姿勢を保持して学習できている。						
	○体力の向上	○児童の運動の偏りが見られる。昨年度の新体力テストの結果、柔軟性に課題が見られた。	○柔軟性が良くなっている。	○柔軟性が良くなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 体育の準備運動を利用して、「ワンミニッツエクササイズ」を実施する。 				
保護者・地域との連携	○保護者・地域との連携による「開かれた・信頼される学校づくり」	○統合から8年目を迎えたが、保護者・地域の智頭小学校への期待は変わらずに高い。	○学校の思いや願いが保護者や地域住民に確実に伝わっている。 ○保護者が懇談や講演会などに多数出席している。	<ul style="list-style-type: none"> 学校日より「満天星」全戸配布 まち comi 登録の呼びかけを行う。複数回、学年ごと等。 保護者にとって魅力ある懇談会や講演会にするために、保護者を巻き込んだ企画・運営・広報を図る。 学校と地域がそれぞれ担う部分を明確にし、町教委、役場、各種団体等との連携をさらに深める。 学校前、児童玄関で、登校する児童を迎え、あいさつの声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりの写真部分中心にホームページを活用 校長・教頭・情報担当2名の4名で情報提供(一人が月1回で月に4回) 継続 継続 	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布継続 まち comi 登録率90%以上。 保護者による広報実施 懇談会や講演会等の出席率が70%以上。 教育活動の充実と教育効果の向上(教員アンケート)。 児童アンケート「あいさつ」の肯定的評価85%以上。 	3 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布を継続し、マチコミは登録率98.5%。 H Pを活用できた。 講演会参加約100人 肯定的評価が低下。事前の打ち合わせ等に時間が取られる。 達成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 案内チラシ配布と部員による声かけを実施する。 来年度も継続する。 級外教員がH Pの活用を行った。行事担当制など、さらなる活用を試みる。 精選をする。 あいさつのレベルを提示。できれば、児童に作成させる。児童会とのコラボ。
		○これまで培われた文化や伝統が継承されており、今後も継承していく必要がある。	○地域住民、ボランティアの方々の支援を受けながら地域を題材にした活動を行う。 ○登下校時や地域学習の際に元気なあいさつをしている。						